

令和3年度第2回平塚市子どもの生活習慣病予防対策委員会 書面会議次第

令和4年（2022年）1月27日（木）

1 報告事項

- (1) 巡回教室について 資料1-1 資料1-2
- (2) 5歳児生活実態調査について
資料2-1 資料2-2① 資料2-2② 調査票
- (3) 5歳児生活実態調査からみた肥満度について 資料3
- (4) 3歳児健診時の肥満対策強化について 資料4
- (5) 肥満児童（小学4・5・6年生）と痩身児童（小学4年生）について
資料5-1 資料5-2 資料5-3 資料5-4
- (6) 児童判定部会・児童健康教室について
資料6-1 資料6-2

2 協議事項

- (1) 関係者研修会の内容について 資料7 資料8 関係者への研修参照
- (2) 令和4年度事業計画（案）について 資料8

以上

平塚市子どもの生活習慣病予防対策委員会委員名簿

令和3年7月7日現在

委員氏名	所属団体	備考
いのまた せいじ 猪股 誠司	一般社団法人 平塚市医師会	会長
こにし よしふみ 小西 好文	一般社団法人 平塚市医師会	
すずき もと 鈴木 基	一般社団法人 平塚歯科医師会	副会長
休会	平塚市私立幼稚園父母の会連合会	
みのしま ゆかり 箕島 由香里	平塚市立幼稚園PTA連絡協議会	
かやもり さとし 栢森 智志	平塚市PTA連絡協議会	
まきの けいこ 牧野 恵子	平塚民間保育園連盟	
おおうち あゆみ 大内 歩美	平塚市立保育園長会	
おざわ さちこ 小澤 佐知子	平塚市私立幼稚園協会	
なかむら たかこ 中村 貴子	平塚市立幼稚園・こども園園長会	
いしはら いくこ 石原 郁子	平塚市小学校長会	
みずたに ちえり 水谷 千絵里	平塚市養護教諭研究会	
つりや さやか 釣谷 沙弥香	平塚市学校栄養士会	
ありむら ゆうこ 有村 優子	神奈川県平塚保健福祉事務所	
いたか としお 位高 駿夫	学識経験者	

任期 自令和3年6月1日 至令和5年5月31日

事務局

健康・こども部	部長	重田 昌巳
健康課	課長	磯部 達男
	健康づくり担当長	萩尾 みゆき
	主管	長田 スミ子
	主査	天瀬 聖子
	主査	河野 直美
	主任	渡邊 望
	技師	長谷川 李菜
	技師	八木沢 未来
学務課	課長	市川 豊
	学務担当長	渋谷 悟朗
	主査	堀内 淳史

令和 3 年度 巡回教室について

子どもの生活習慣病予防対策事業における巡回教室については、これまで市内幼稚園、保育所、認定こども園に希望を募り、保健師や管理栄養士が園に出向いて保護者や園児対象に子どもの生活習慣病を防ぐための普及啓発に取り組んできました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の対策とまん延防止の対応として、教室の実施は中止といたしましたが、希望があった園には、保護者向けのリーフレット「育てよう！元気っ子教室」資料 1-2 を配付し、情報提供と普及啓発をしました。

配付園数 28 園

配付部数 1,127 部

令和3年度

5歳児生活実態調査からみた
肥満度について（参考値）

1 対象数

【表1】

令和3年度(参考) ※

(人)

	男子	女子	園児数合計
幼稚園(19)+こども園1号(8)	391	497	888
保育所(35)+こども園2号(8)	381	416	797
合計(62)	772	913	1685

令和2年度(参考)

(人)

	男子	女子	園児数合計
幼稚園(9)	152	134	286
保育所(33)	286	300	586
認定こども園(3)			
1号認定	8	17	25
2号認定	27	12	39
合計(45)	473	463	936

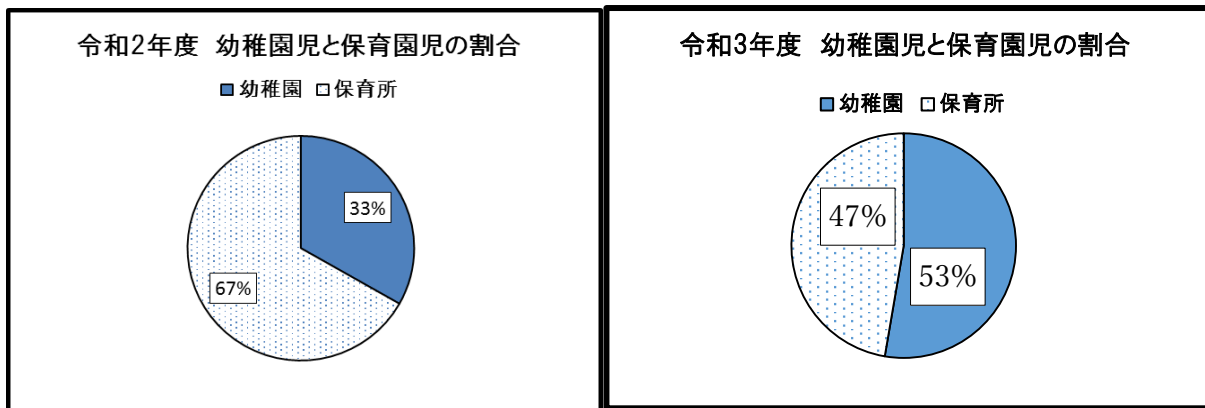
※今年度は肥満度調査を実施せず、5歳児生活実態調査で保護者が記入した児の身長と体重によって数値を調査した。

従って、今回の集計結果は例年との比較に際しては、参考程度と受け止めていただきたい。

2 幼稚園児と保育園児の割合の推移

【図1】

【図2】



昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、幼稚園は閉園せざるを得なくなり、幼稚園児の身体計測の機会が無くなったため、調査対象数は例年の1/3程度に激減した。一方、保育所の多くは計測の機会が得られ、保育園児の減少幅は僅かであった。そのため、【図1】【図2】に示すように、昨年度の調査対象は例年と異なり保育所優位のものとなったが、今年度は例年通りに戻ったといえる。

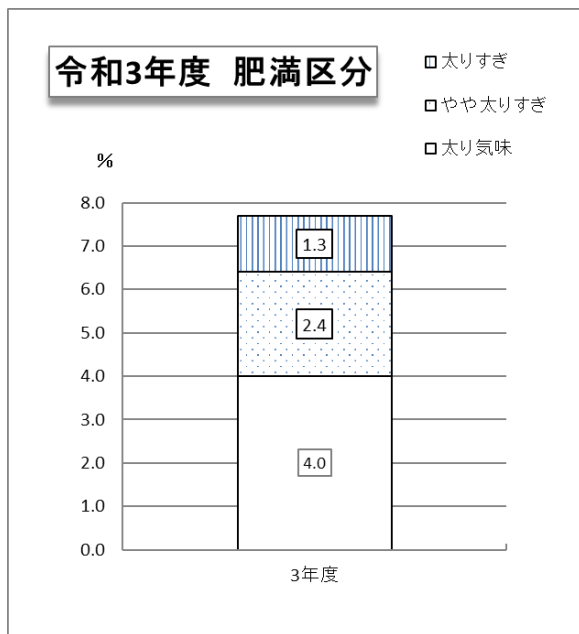
3 集計結果

【表2】 幼稚園、保育所の肥満区分毎の人数

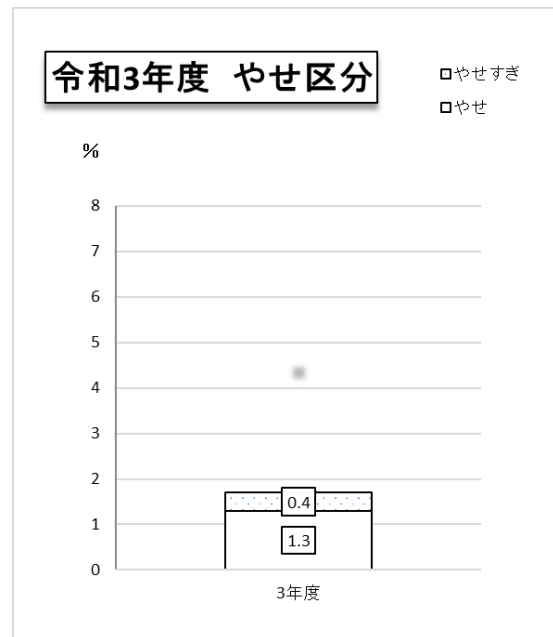
			太り気味		やや太りすぎ		太りすぎ		やせ		やせすぎ	
			人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
幼稚園	男子	376	16	4.3	7	1.9	3	0.8	6	1.6	0	0
	女子	471	11	2.3	14	3.0	5	1.1	5	1.1	5	1.1
	合計	847	27	3.2	21	2.5	8	0.9	11	1.3	5	0.6
保育所	男子	351	18	5.1	11	3.1	4	1.1	1	0.3	1	0.3
	女子	391	19	4.9	7	1.8	8	2.0	8	2.0	0	0
	合計	742	37	5.0	18	2.4	12	1.6	9	1.2	1	0.1

本年度の肥満、やせ児を肥満度区分に従って棒グラフに示すと【図3】、【図4】となる。

【図3】



【図4】

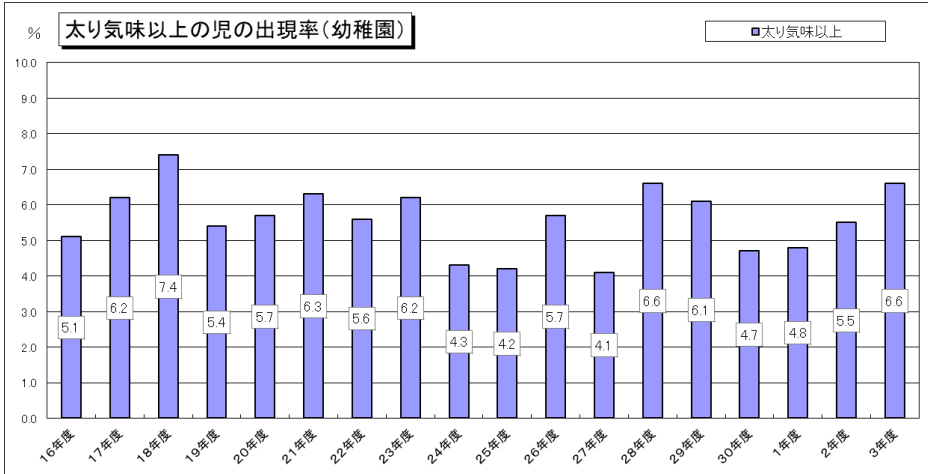


肥満区分において、「やせ」もしくは「やせすぎ」に区分された対象者は、およそ2%であり、低い出現率であった。一方、「太りすぎ」「やや太りすぎ」「太り気味」に該当した対象者は7.7%であり、注意が必要である。引続き、5歳児においては、痩せすぎという低体重に対する対策よりも過体重に対する対策が必要である。

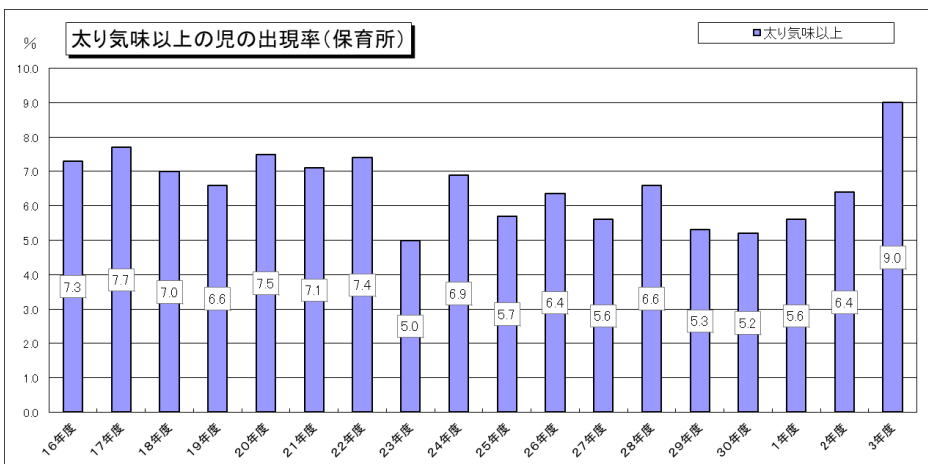
4 肥満度15%以上（太り気味以上）の出現率

(1) 5歳児肥満出現率の幼稚園児と保育園児の比較

【図5】



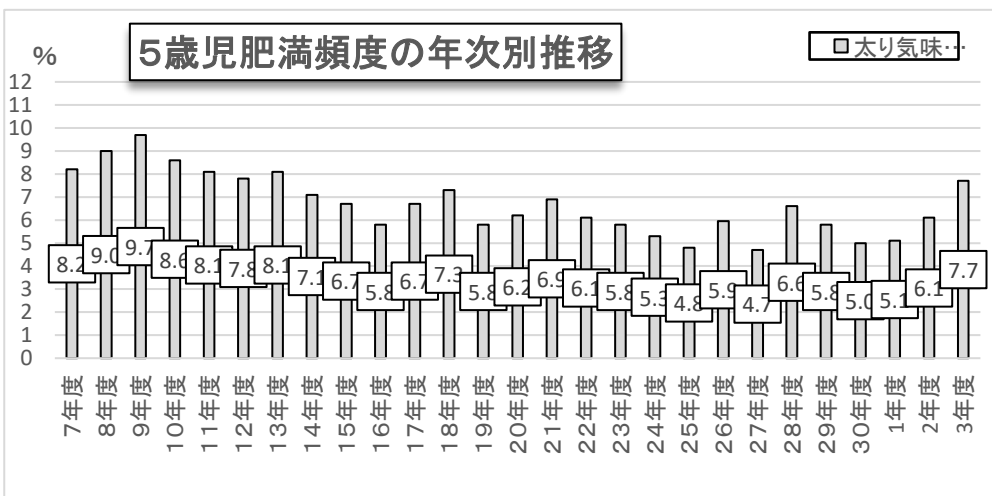
【図6】



太り気味以上の区分の該当者は、令和元年度から増加傾向にあり、これは、幼稚園児・保育園児ともに同様の傾向である。低下傾向から一転し、増加傾向に移っていることを理解し、危機感を持たなくてはならない。【図5】【図6】

(2) 5歳児全体の肥満出現率の年次別推移

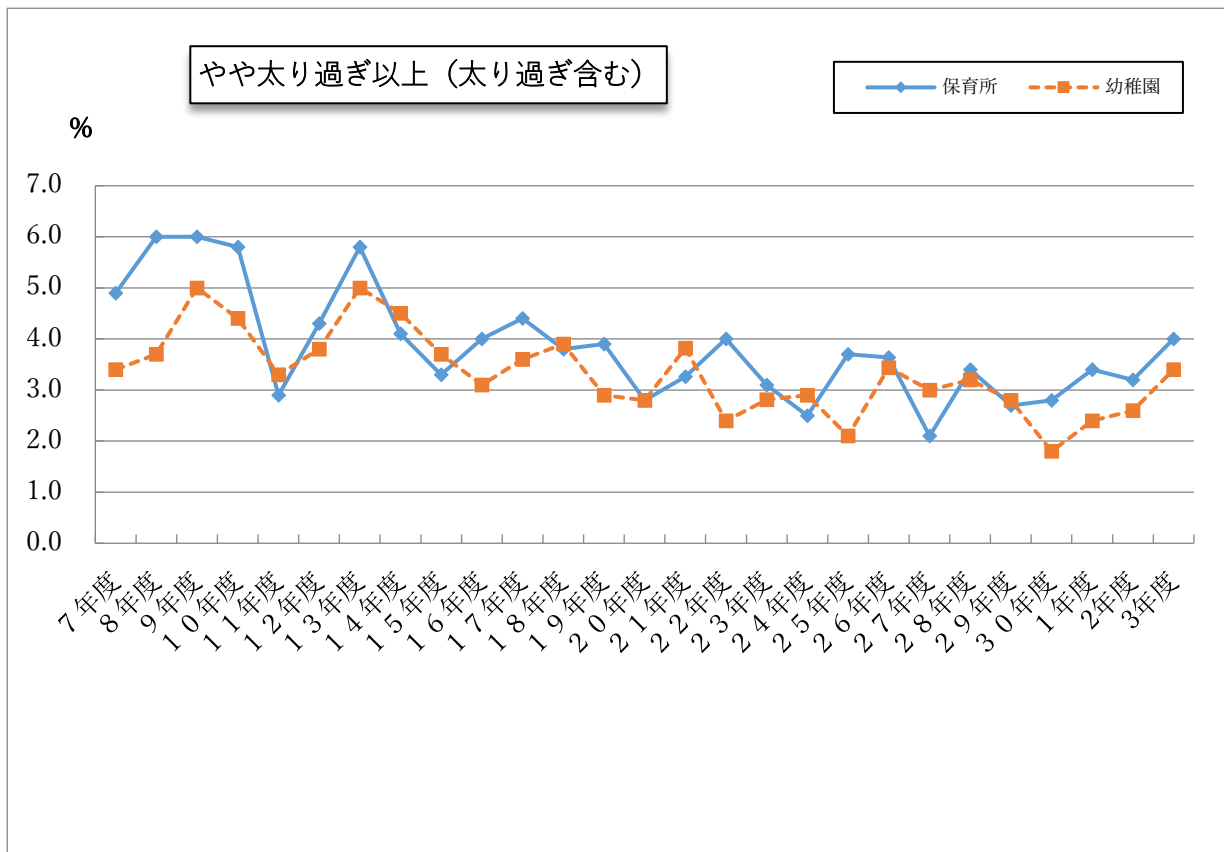
【図7】



前述のとおり、肥満出現率は、平成の間かけて続いてきた長い減少期間が終わろうとしている。令和1～3年度は、平成16～18年度のような状況であり、次年度の結果など、今後の推移が重要な局面である。【図7】

5 肥満度20%以上（やや太り過ぎ以上）の出現率〔太り過ぎも含む〕

【図8】

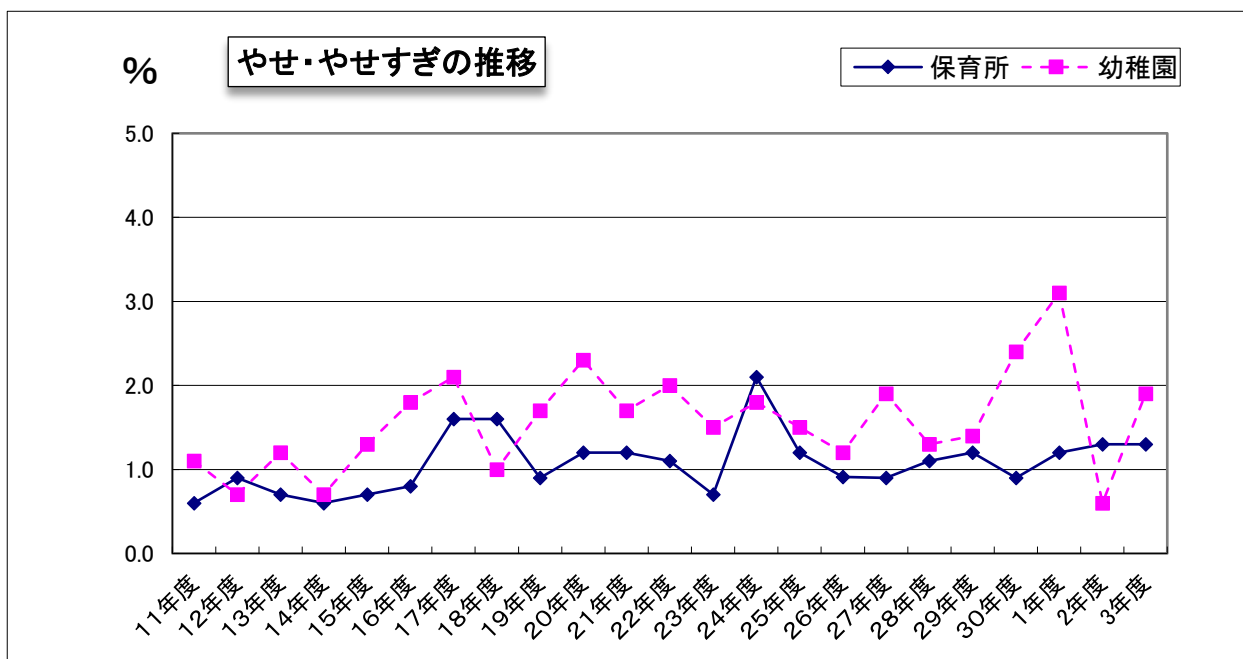


幼稚園児と保育園児の比較 保育園児＞幼稚園児の方が割合としては高いが、大きな差とはとらえにくい。経年比較では全体に減少傾向ではあったが、この数年やはり増加していると推察される。

【図8】

6 やせ、やせすぎの年次推移

【図9】



やせ・やせすぎは、調査開始時より 1~2%の間で推移しており、この傾向は維持できている。本年度の調査では 1707 人を対象とした際の 26 人が該当しており、ハイリスクアプローチの考え方で個別での把握・指導が必要かもしれない。【図9】

7 考察

- (1) 近年、特に令和元年以降、肥満児の該当者が増加傾向にあり、傾向を確認していく必要がある。特に、新型コロナウイルスによる自粛等による活動量の減少や自宅時間の長期化などの社会的背景を考慮すると肥満児が増える要因となっても間違いはない。
- (2) また前述の傾向は、幼稚園・保育所ともに同様の傾向であり、対策が必要である。
- (3) 一方で、やせに関する問題は、長期にわたり 1～2%で推移しており、対象となる児童を持つ保護者などに直接的にアプローチしていくなどの対策が有効かもしれない。

3 歳児健康診査時の肥満対策強化について

1 取組内容

- 1) 健診会場の待合の部屋に食生活・運動・生活リズムに関するポスターを掲示。
- 2) 肥満度15～20%未満：栄養相談を受けるよう促し（生活相談は必要時）。
肥満度20%以上：小児科医師による身長体重曲線のプロットと保護者への肥満状況の説明。
生活相談、栄養相談、乳幼児ケアの促し。
- 3) 運動の必要性や運動に関するパンフレットによる情報提供。

2 健診後のフォロー

肥満度20%以上の場合、3～6か月後の乳幼児ケアを予約し小児科医師による診察、保健師、管理栄養士による健診以降の生活状況の確認と助言、指導を行っている。令和3年度より、運動指導士による運動相談を追加した。（運動相談の評価については項目6参照）

3 平成31年度3歳児健康診査の結果

【表1】

令和2年度3歳児健診受診者（人）	肥満度15～20%未満の児（人）	割合（%）	肥満度20%以上の児（人）	割合（%）
1755人	66	3.76	28	1.59

1) 肥満度15～20%未満の児

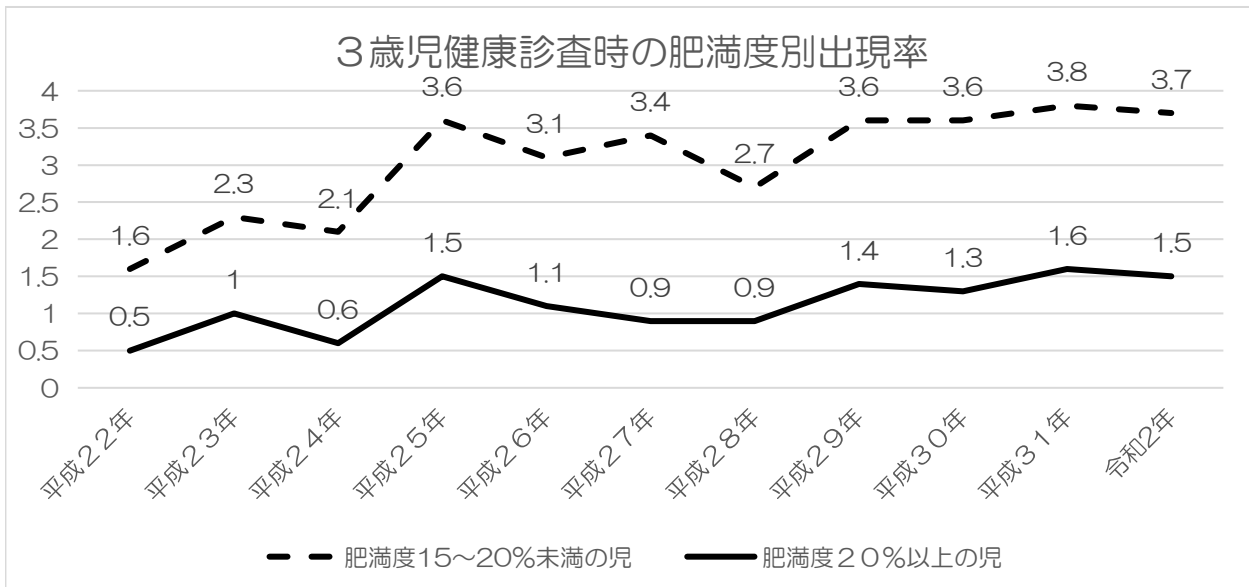
- 栄養相談を回った人数・・・59/66（人）89.39（%）
- パンフレットを渡し結果説明した人数・・・7/66（人）10.66（%）

2) 肥満度20%以上の児

- 栄養相談、生活相談を回った人数・・・27/28（人）96.4（%）

4 年次推移

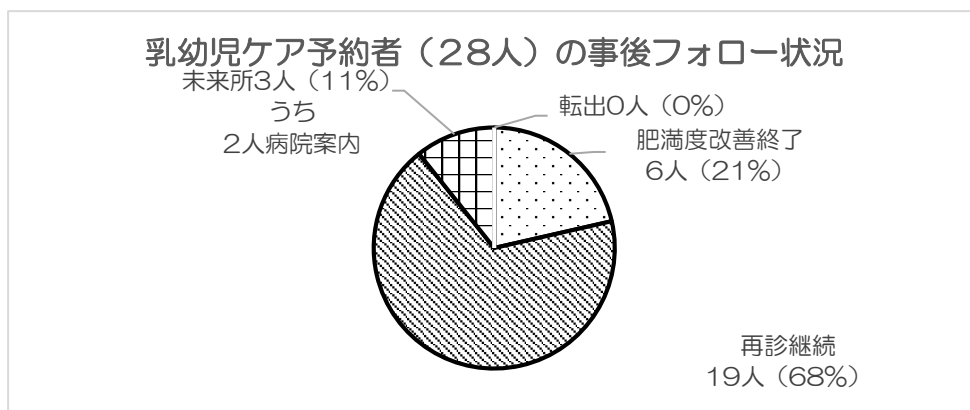
【図1】



5 肥満度20%以上の児の健診後フォロー

乳幼児ケア予約・・・25/28（人）

【図2】



6 乳幼児ケアで実施した運動相談の評価について

（令和3年度から運動の専門職（運動指導士）を従事者として追加したため、評価を行った。）

(1) 乳幼児ケアで実施した運動相談の事業の評価

【表1】1月17日時点

令和3年度 乳幼児ケア回った人数 (肥満度20%以上の児)	運動相談を受けた人数	運動相談を2回目受けた人数 (19人中)
26人	19人 ※1	4人 ※2

運動相談を受けた19人のアンケート回収率は100%であった。

※1 運動相談に受けた人の満足度：19人中

大変満足だった	満足だった	やや不満だった	不満だった
9人	10人	0人	0人

※2 運動相談を2回受けた人の詳細

1月17日時点

	性別	変化内容	事後フォロー
1	男	肥満度：初回36.51%→2回目（6か月後）36.59% ダンスをよくする。	あり
2	女	肥満度：初回32.92%→2回目（6か月後）30.8% 走ることが好きのため、遊び場は公園や広場があるところを選んだ。	あり
3	女	肥満度：初回32.77%→2回目（6か月後）29.11% スイミング週2回、フラダンス2回の習い事を始めた。	あり
4	女	肥満度：初回24.17%→2回目（6か月後）20.14% 休日に公園で遊ぶ回数を増やした。	なし

(2) 今後の取り組み

令和3年度から運動相談を加えたことにより、事例は少ないが、運動相談を2回受けた児の中で3人の肥満度の改善がみられた。今後は、5歳児に実施する生活実態調査の結果返却時に、保護者や園が体格について何か気になることがある場合には、園の先生を通して、保健センターへ相談していただくように周知を依頼した。

以 上

肥満児調査結果の推移(小学校4年生)

1.肥満児頻度

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
肥満児(人)	216	207	211	201	165	217	173	179	174	149	206	174	165	178	164	173	183	274	235
在籍数(人)	2,364	2,383	2,306	2,451	2,416	2,384	2,303	2,390	2,338	2,336	2,380	2,278	2,203	2,189	2,203	2,205	2,104	2,064	2,079
割合(%)	9.1	8.7	9.2	8.2	6.8	9.1	7.5	7.5	7.4	6.4	8.7	7.6	7.5	8.1	7.4	7.8	8.7	13.3	11.3

※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、健康診断の実施時期が例年と異なり、各校で基準日にばらつきがある。

2.男女別

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全体(%)	9.1	8.7	9.2	8.2	6.8	9.1	7.5	7.5	7.4	6.4	8.7	7.6	7.5	8.1	7.4	7.8	8.7	13.3	11.3
男子(%)	10.4	11.4	10.9	9.2	7.8	9.3	8.1	8.6	7.6	5.6	8.6	8.1	7.7	8.7	9.0	8.9	9.5	16.4	12.0
女子(%)	7.7	5.3	7.2	7.1	5.9	8.8	6.9	6.4	7.3	7.1	8.7	7.1	7.3	7.5	5.7	6.9	7.9	10.0	10.6

※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、健康診断の実施時期が例年と異なり、各校で基準日にばらつきがある。

3.「受診のすすめ」/肥満児(配布率)

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
配布数(人)	176	157	173	167	140	153	138	149	141	140	166	66	70	91	72	74	66	—	102
肥満児(人)	216	207	211	201	165	217	173	179	174	149	206	174 (80)	165 (74)	178 (93)	164 (73)	173 (77)	183 (76)	—	235 (118)
割合(%)	81.5	75.8	82.0	83.1	84.8	70.5	79.8	83.2	81.0	94.0	80.6	37.9 (82.5)	42.4 (94.6)	51.1 (97.8)	43.9 (98.6)	42.8 (96.1)	36.1 (86.8)	—	43.4 (86.4)

※平成26年度から受診のすすめを発行する対象を、肥満度20%以上で学校医から指摘のあった児童から、肥満度30%以上で学校医から指摘のあった児童へ変更した。()内は、肥満度30%以上の児童数とその配布率を記入。

※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により事業を中止した。

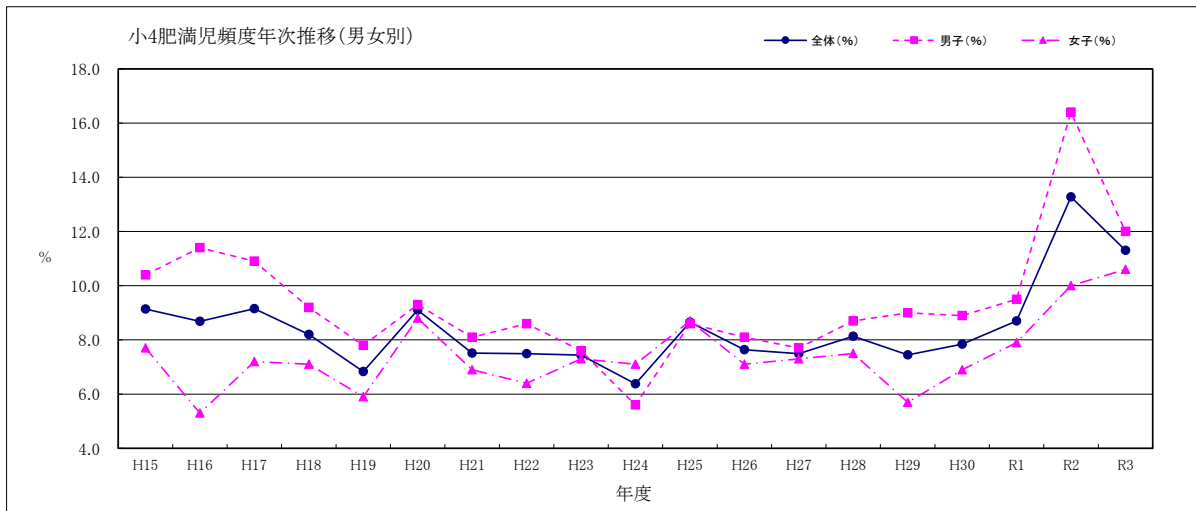
4.受診児/「受診のすすめ」(受診率)

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
受診数(人)	45	45	53	44	33	44	33	39	42	43	34	17	21	31	23	25	21	—	21
配布数(人)	176	157	173	167	140	153	138	149	141	140	166	66	70	91	72	74	66	—	102
割合(%)	25.6	28.7	30.6	26.3	23.6	28.8	23.9	26.2	29.8	30.7	20.5	25.8	30.0	34.1	31.9	33.8	31.8	—	20.6

※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により事業を中止した。

5.肥満度別受診率(R3年度)

年度	受診数(人)	肥満児(人)	割合(%)
中等度	18	103	17.5
高度	3	15	20.0
合計	21	118	17.8



「肥満児の出現率」年次推移(小学校4～6年)

全国 学校保健統計調査(文部科学省)

H17までは学年別標準体重120%

H18からは(実測体重-身長別標準体重)÷身長別標準体重×100

※令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、令和3年度学校保健統計調査の速報値が令和4年7月頃公表予定のため、現時点(令和4年1月27日時点)では不明。

平塚市 平塚市子どもの生活習慣病予防対策委員会

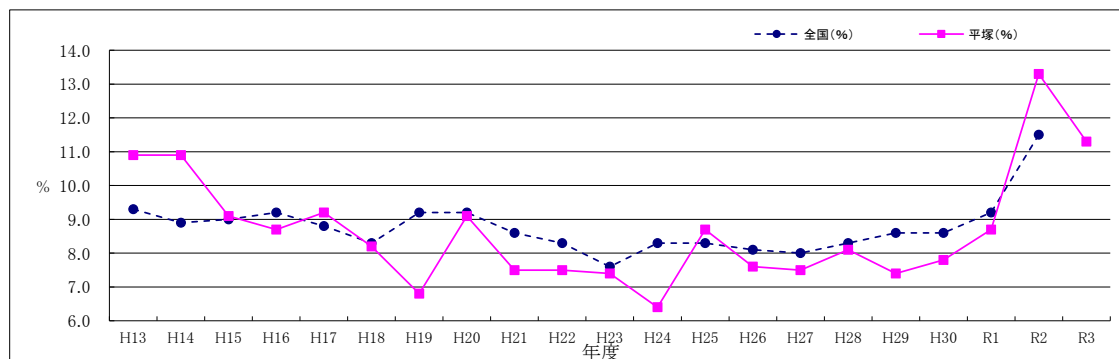
H19までは肥満度20%以上を標準体重120%に換算

H20からは(実測体重-身長別標準体重)÷身長別標準体重×100

※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、健康診断の実施時期が例年と異なり、各校で基準日にばらつきがある。

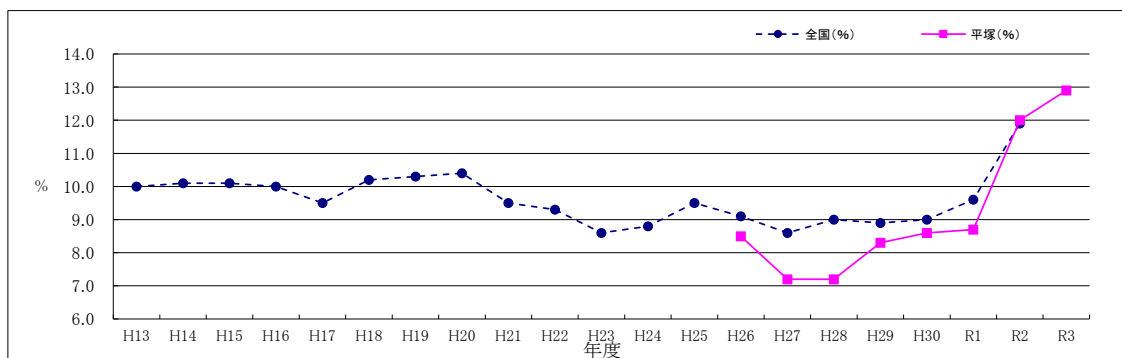
【4年生】

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国(%)	9.3	8.9	9.0	9.2	8.8	8.3	9.2	9.2	8.6	8.3	7.6	8.3	8.3	8.1	8.0	8.3	8.6	8.6	9.2	11.5	
平塚(%)	10.9	10.9	9.1	8.7	9.2	8.2	6.8	9.1	7.5	7.5	7.4	6.4	8.7	7.6	7.5	8.1	7.4	7.8	8.7	13.3	11.3



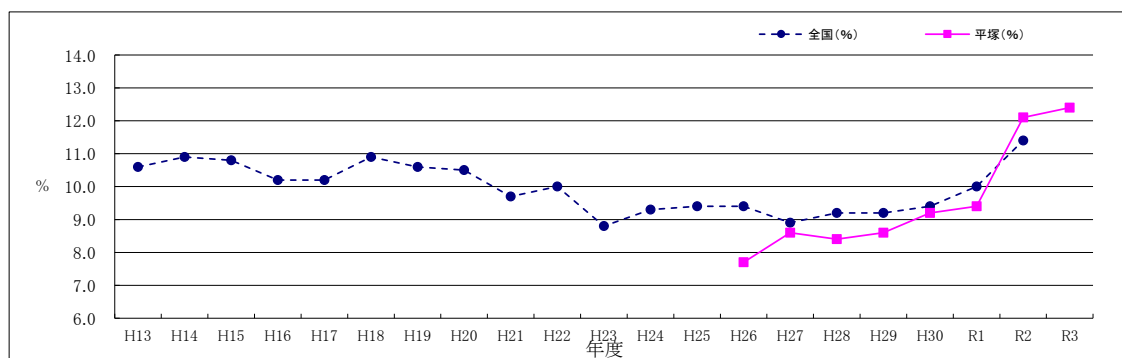
【5年生】

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国(%)	10.0	10.1	10.1	10.0	9.5	10.2	10.3	10.4	9.5	9.3	8.6	8.8	9.5	9.1	8.6	9.0	8.9	9.0	9.6	11.9	
平塚(%)														8.5	7.2	7.2	8.3	8.6	8.7	12.0	12.9



【6年生】

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国(%)	10.6	10.9	10.8	10.2	10.2	10.9	10.6	10.5	9.7	10.0	8.8	9.3	9.4	9.4	8.9	9.2	9.2	9.4	10.0	11.4	
平塚(%)														7.7	8.6	8.4	8.6	9.2	9.4	12.1	12.4



令和3年度 判定結果

※新型コロナウイルス感染症の予防により、判定部会を中止したが、事務局で暫定的に判定した。

小学校4年生

項目	人数	構成率%	備考
A 在籍数	2,079		
B 受診のおすすめ発行数	102	4.9 (B/A)	
C 受診報告書回収数	21	20.6 (C/B)	
判定結果	5点以下	11	52.4 うち7人は、受診時の肥満度は30%未満
	6点	0	0.0
	7点	2	9.5
	8点	3	14.3
	9点	1	4.8
	10点	0	0.0
	11点	2	9.5
	12点	1	4.8
	13点	0	0.0
	14点	1	4.8
	15点以上	0	0.0
※21人のうち、健康教室への出席3人。			

小学校5年生

項目	人数	構成率%	備考
A 在籍数	2,065		
B 受診のおすすめ発行数	110	5.3 (B/A)	
C 受診報告書回収数	26	23.6 (C/B)	
判定結果	5点以下	14	53.8 うち4人は、受診時の肥満度は30%未満
	6点	4	15.4 うち1人は、受診時の肥満度は30%未満
	7点	1	3.8
	8点	1	3.8
	9点	1	3.8
	10点	0	0.0
	11点	1	3.8
	12点	3	11.5
	13点	0	0.0
	14点	1	3.8
	15点以上	0	0.0

小学校6年生

項目	人数	構成率%	備考
A 在籍数	2,119		
B 受診のおすすめ発行数	104	4.9 (B/A)	
C 受診報告書回収数	27	26.0 (C/B)	
判定結果	5点以下	8	29.6 うち3人は、受診時の肥満度は30%未満
	6点	3	11.1
	7点	4	14.8
	8点	2	7.4
	9点	3	11.1
	10点	2	7.4 うち1人は、受診時の肥満度は30%未満
	11点	1	3.7
	12点	0	0.0
	13点	1	3.7
	14点	1	3.7
	15点以上	2	7.4

※判定結果の構成率は、四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

児童健康教室について

- 1 実施日時 令和3年12月12日(日) 午後1時30分から午後16時00分まで
- 2 場 所 平塚市保健センター
- 3 対 象 者 小学校4年生のうち、
春の健康診断時に肥満度20%以上で校医が指摘した児童198人とその保護者
- 4 参加人数 児童23人とその保護者
- 5 参加児童内訳
 - (1) 受診のおすすめが発行されていない児童又は受診報告書の提出がない児童 20人
 - (2) 判定部会での判定ポイントが5点以下の児童 2人
 - (3) 判定部会での判定ポイントが6～10点の児童 1人
- 6 実施内容
 - (1) 身体計測(身長、体重、腹囲、肥満度算出、血圧測定)
スタッフ 学務課職員
 - (2) 医師面談
スタッフ 猪股委員、小西委員
 - (3) 栄養相談
スタッフ 釣谷委員、学校栄養技師等4名

以 上

子どもの生活習慣病予防 関係者研修会経過

・平成11年度から20年度まで毎年開催。その後、隔年で開催し全16回開催。

<研修内容>

年度	開催日	内容	講師
18年度	2月22日	子どもの生活習慣病予防と 平塚市の食育	平塚市健康課 管理栄養士 石村 靖子
		麻疹、風疹の予防接種について	健康課職員
19年度	2月8日	園でお願いしたい食育指導	平塚市健康課 管理栄養士 石村 靖子
20年度	2月20日	子どもの生活習慣 ～『遊び』から生活リズムを考える～	社会福祉法人たつの子の会 西東京市立みどり保育園 園長 武田 美代子 氏
			平塚市子どもの生活習慣病予防対策委 員 小児科医師 近藤 朗 氏
22年度	7月28日	「園で実践！楽しい食育」 ～平塚市食育推進計画から～	平塚市健康課 管理栄養士 古屋 久美子
24年度	2月14日	「小児の肥満対策」～子どもの生活習 慣病予防対策委員会の立場から～	平塚市子どもの生活習慣病予防対策委 員会 委員長 間島医院 梅沢幸子氏
26年度	2月6日	第1部 こどもたちのからだは危ない？！ 第2部 今こどものために大人ができること	山梨大学大学院総合研究部教育人間 科学域教育学系 教授 中村 和彦
28年度	11月4日	睡眠力UP ～子どもたちの睡眠、 今のままで大丈夫？！～	国立精神・神経医療研究センター 臨床心理士 綾部 直子
30年度	7月20日	小児科医師と考える子どもの肥満 ～肥満の現状と課題～	梅沢医師・近藤医師・小西医師
令和2年度	9月1日 ～ 10月31日	子どもの生活習慣病予防には 運動が最適 ～運動ってどの程度大切？～ 期間限定のオンライン配信	株式会社ハイクラス 代表取締役 健康運動指導士 位高 駿夫

令和4年度 事業計画 (案)

事業名	実施予定	内 容	方 法
対策委員会	7月28日(木) 令和5年1月26日(木)	各事業についての検討と報告。	保健センターで開催予定。 (ただし、新型コロナウイルス感染状況によっては 書面会議で開催予定)
巡回教室	年間	公私立保育所・幼稚園・認定こども園に実施する。	園児：教室実施(希望園の年長児) 保護者：テキスト配布(希望園の年長児保護者)
5歳児肥満度調査	5月	公私立保育所・幼稚園の協力により5歳児の身体計測値をもとに肥満度調査を実施する。 * 肥満度15%以上の園児の保護者には生活習慣病予防のリーフレットを配布する。	例年通り
子どもの生活習慣病 予防相談	7月24日(日)	5歳児肥満度調査により肥満度15%以上の園児を対象に周知し、希望者に医師・スポーツ健康科学博士・保健師・管理栄養士が個別相談を実施する。	例年通り
3歳児健診時の肥満 対策強化事業	年間	肥満度15～20%未満の場合は全員栄養相談(生活相談は必要時)に案内する。 肥満度20%以上の場合、医師から説明し、生活相談、栄養相談、乳幼児ケアへの促し、運動の必要性や運動に関するパンフレット等による情報提供をする。	例年通り

関係職種への研修	8月～10月	子どもに関わる機関の関係職種を対象に子どもの生活習慣病及び事業への理解と協力を呼びかける。	テーマ：(仮) 令和3年度に実施した5歳児生活実態調査から見えたこと 方法：期間限定オンライン配信
小学4～6年生へ「受診のおすすめ」発行	6月	小学4～6年生のうち、肥満度30%以上で、校医が受診勧奨の必要性を認めた児童を対象に発行。	例年通り
児童判定部会	9月～10月	「受診のおすすめ」により受診した児童の検査結果について検証及び判定をする。	例年通り
児童健康教室	11月	小学4年生のうち、肥満度20%以上の児童を対象にPRし、医師・栄養教諭等による個別相談、運動指導士による運動指導を実施する。	例年通り
5歳児生活実態調査	—	公私立保育所・幼稚園・認定こども園の協力により5歳児の生活実態調査を実施する。	隔年実施（令和5年度実施予定）

*** 全ての事業において、新型コロナウイルス感染状況やワクチン接種事業により延期または中止する可能性があります。**